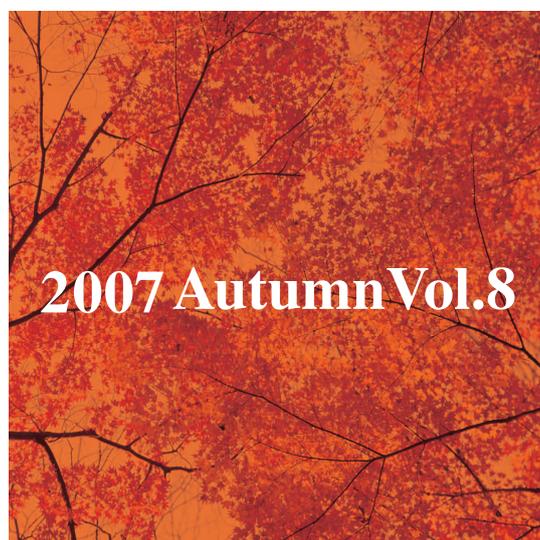


KOBE university STYLE

神戸大学





INDEX

キャリアセンター、スタート! [Career Center]	02
キャリア支援 [Career Support]	03.04
就職情報2008 [Employment Information for 2008]	05
私の就職活動記 [My Job Hunting Experience]	06
先輩からのメッセージ [Message from Graduates]	07
インターンシップにチャレンジ [Internship Challenges]	08
大学院進学 [Going On to Graduate School]	09
東京オフィス [Tokyo Office]	10
就職データ2007 [2007 Employment Data]	11.12
地域とともに [In Cooperation with the Region]	
神戸大学と地域連携活動	13.14
のびやかスペースあーち	15
サイエンスカフェ	16
神戸大学基金にご協力を [Kobe University Fund -We Need Your Help-]	17
先輩登場 [Alumni Corner]	
シリン・ネザマフィさん	18
学友会から	18
保健管理センターだより [Medical Center for Student Health]	19
主な出来事 [Recent News & Events]	20
歴史のひとこま [Historical Scenes]	21



キャリアセンターの看板を掲げる薄井洋基理事と内田正博センター長(右から)

キャリアセンター、スタート!

[Career Center]

2007年6月1日、神戸大学キャリアセンターが発足しました。前身は学務部「就職支援室」です。場所は元通りのところで、一見、看板が変わっただけの印象をもたれるかもしれませんが。しかし、この名称変更は、将来的に神戸大学における就職進路支援が進むべき方向をも示しています。

神戸大学キャリアセンター長 [国際文化科学研究科教授]
内田 正博

(1) 支援理念の確立

キャリアデザインの核は夢や目標、そして社会貢献の志。それは、学習意欲の向上と就業意識の醸成をもたらし、所属学部等で学ぶ意義と教養の重要性に気づきを与え、生涯にわたるキャリア形成力を育みます。そのためにキャリアセンターが行う全ての活動は、自己への気づき、自立、社会的関心の獲得をサポートすることをめざしています。

(2) 支援範囲の拡大

1年生からのキャリアデザインや卒業生の転職に至るまで、幅広く神戸大学で学ぶ者と学んだ者のキャリア形成をサポートするという姿勢を打ち出します。

(3) 支援内容の拡充

これまで通り、大規模な全学ガイダンスやインターンシップ等を継続進化させながら、就職進路相談の拡充を図ります。キャリアというものは本来個

人的なものであり、自己への気づきがあって初めて、自分に合った将来の進路や職業の選択も可能になるからです。

(4) 支援協力体制の充実

卒業生によるリレー講義形式の2006年度後期開講の全学キャリア科目でも明らかになりましたが、豊富で多様なキャリアを形成されている卒業生は、キャリア支援やキャリア教育にとって、非常に心強いヒューマンリソースです。これまで以上に同窓会との連携を図ります。

(5) 支援環境の整備

ネットワーク型支援体制の強化を図ります。従来から神戸大学では、就職支援室を初めとして、各学部・研究科、同窓会、東京オフィス、大学生協、学生団体などの多くの学内支援組織が相互補完的に連携しながら独自の活動を行ってきました。キャリア形成力の涵養は、所属学部等における教育や人材育成がコアとなることから、

それぞれのニーズを踏まえた支援活動も不可欠であり、ネットワーク型支援体制をいっそう推進します。

(6) 支援状況の広報

神戸大学における学内各支援組織の行事数は驚くほど多く、たとえば2006年度の場合、就職支援室(現キャリアセンター)主催行事の25回を含め、総計158回に達します。ただし、このような活発な支援状況が、ユーザーである学生の皆さんに十分に知られているとは限りません。新しいキャリアセンターは、ネットワークのハブ組織として広報力を強化し、神戸大学の多彩な支援活動を効果的に発信して、学生の皆さんに、学内で活発に展開されている就職支援行事や就職進路相談について周知してもらえるよう努めます。

ところで、キャリアセンターは1年生から利用できます。気軽に立ち寄ってください。

各学部等における就職支援

各学部には、就職委員会のほか、発達科学部キャリアサポートセンター、六甲台就職情報センター（法学部・経済学部・経営学部・国際協力研究科）があり、その他、就職支援室、就職情報室、学生支援室、進路相談室などを設置しています。各学部では、就職関係情報の提供、就職ガイダンス（セミナー）を行っています。発達科学部と六甲台の各センターには相談員を配置しています。また、神戸大学生協、同窓会、学生組織（job-navi、六甲台学生評議会）

などでも、就職セミナーの開催など、多彩な就職支援の取り組みを展開しています。特に神戸大学生協では、学内の各就職支援組織が行う全行事を掲載した情報紙「Future!」を定期的に発行し、主として学部3年生、大学院修士・博士前期課程1年生に郵送しています。なお、神戸大学東京オフィス（有楽町）では、首都圏での就職活動を行う学生のための情報提供や就職相談の対応も行っています。

平成19年度全学就職ガイダンス実施計画

平成21年3月卒業・修了予定者対象の就職ガイダンス [は公務員希望者対象 は2年生対象のキャリアガイダンス]

回	日時	場所	内容等
第7回	10月3日[水] 17:00~18:30	神大会館 六甲ホール	●講演:劇的内定術~就職活動を成功させるために 講師:坂本直文氏(就職コンサルタント)
第4回	10月12日[金] 17:00~18:30 ※麻疹休校による6月6日分の開催	神大会館 六甲ホール	[学部2年生対象キャリアガイダンス] ●講演:社会で成功する人の法則~プロの仕事研究/パネルディスカッション(4年生) 協力:エンジャパン(株)
第8回	10月17日[水] 17:00~18:30	神大会館 六甲ホール	●先輩学生が語る就職活動の実際 就職活動体験報告/パネルディスカッション
第9回	10月22日[月] 13:00~18:30	神大会館 六甲ホール	●Live Voice~参加企業のOB・OGとの交流ブース/各社人事担当者の講演 協力:(株)ジェイ・プロード
第10回	10月24日[水] 17:00~18:30	神大会館 六甲ホール	●講演:“就勝”STEP UP講座「業界・企業研究編」 協力:(株)アクセスコーポレーション
第11回	11月7日[水] 13:30~18:30	神大会館 六甲ホール	●公務員関係職員採用試験制度等の説明(人事院、国立大学法人近畿、兵庫県、大阪府、神戸市等) 公務員合格者体験報告
第12回	11月21日[水] 13:00~16:30	六甲台本館(経済学部・経営学部)	●国家公務員II種(行政)官庁業務説明会 参加官庁:未定 主催:人事院
第13回	11月28日[水] 15:10~16:40	神大会館 六甲ホール	[文系学生対象] ●講演:エントリーシートの書き方 協力:(株)毎日コミュニケーションズ
第14回	11月28日[水] 17:00~18:30	神大会館 六甲ホール	[理系学生対象] ●講演:エントリーシートの書き方 協力:(株)毎日コミュニケーションズ
第15回	12月5日[水] 15:15~16:45	神大会館 六甲ホール	●講演:面接指導(模擬面接) 講師:国領みどり氏(国領ビジネス・エデュケーション・センター所長)/就職活動体験報告
第16回	12月11日[火]・12日[水]・13日[木] 各日とも10:30~18:30	鶴甲第1キャンパス 大学教育推進機構K棟(予定)	●神大生のための就職フォーラム2007 講座/講演/企業別ブース 協力:(株)文化放送キャリアパートナーズ
第17回	2月14日[木]・15日[金]・18日[月] 19日[火]・20日[水]・21日[木] 各日とも9:45~17:00		●企業等説明会 人事担当者、OB・OG等による説明 (6日間で百数十社の参加予定)

※9月までに実施したガイダンスは省いています。

○主催:神戸大学キャリアセンター ○共催:神戸大学生生活協同組合 ○協賛:国際文化学部キャリアデザインセンター、理学部就職委員会、農学部就職委員会

この計画表は、[神戸大学HPトップページ](#) ▶ [教育・キャンパスライフ・就職](#) ▶ [進路・就職](#)

<http://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/employment/guidance.htm> に掲載しています

上記実施計画の全学就職ガイダンスは、キャリアセンター主催行事です。神戸大学では、キャリアセンターを初めとして、学内の数多くの各就職支援組織が、年間約150以上のキャリア支援行事を開催しています。詳細については、次のホームページをご覧ください。

<http://seagull.coop.kobe-u.ac.jp/recruit/calendar.html>



就職情報 2008

Employment Information for 2008

ここ数年、新卒採用は「売り手市場」と言われています。実際、弊社の運営する就職情報サイト「毎日就職ナビ(2009年卒からは「マイナビ」)」でも、2007年卒と比較して2008年卒では1,000社以上、求人掲載企業数が増加しています。この背景には、単に景気回復だけではなく、労働力人口の推移に起因する理由が多く挙げられます。このような状況からみて、来年度の就職戦線も現在の経済環境がよほど変化しない限り、引き続き新卒への採用ニーズの高さを反映した動きになっていくことが全体として予想されるでしょう。

2008年卒の就職戦線においては、以下の点が特徴として挙げられます。

企業の採用動向

- [1] 採用スケジュールの早期化…人材争奪戦の中、より多くの学生との出会いを求めて、採用情報の公開から内々定出しまで、一連のスケジュールが前倒し傾向にありました。(グラフ参照)
- [2] 大手企業と中小企業での採用格差…売り手市場においても大手企業の就職競争倍率は変わらず高い状況である一方、中小企業は知名度の点から採用活動に苦戦している状況です。
- [3] 採用市場の拡大「地方採用」「女性採用」「留学生採用」…本格的な労働力不足を背景に、これまでの採用ターゲットとは異なる層に対するアプローチを積極的に拡大しています。

学生の就職活動状況

- [1] 年内エントリー数の増加…売り手市場により、ここ数年、エントリー数は減少の一途を辿っていましたが、今期は増加しました。
- [2] 高まる「大手志向」…弊社の「大学生の就職意識調査」において、「絶対に大手企業がよい」+「やりたい仕事ができるのなら大手企業がよい」と回答した「大手志向」の学生が、バブル期並みの水準となっています。
- [3] 特定の学生に内々定の集中傾向…内々定を多数保有する学生とそうではない学生の差が広がっています。弊社モニターアンケートを見ると、未内定者のコメントに共通しているのは、スタートの遅れ及び、大手や特定の業界にのみ絞込みすぎて活動してしまっただけという点です。



伊勢 由規

(株)毎日コミュニケーションズ 大阪支社
キャリアサポート課
[2005年国際文化学部卒]

それでは、2009年卒の就職戦線はどのように乗り切れればいいのでしょうか。

就職活動スケジュール

[1] 採用情報公開・エントリー受付

就職活動は情報戦といえます。10月から就職情報サイト等を通じて順次、採用情報が公開されますので、効率よくエントリー、情報収集を始めましょう。就職活動の初期段階で大切なのは、「幅広い視野をもつこと」です。社会勉強と思って是非、積極的にエントリーしてみてください。参考までに、昨年先輩の平均エントリー数は、3月末段階で1人約76件でした。

[2] 企業セミナー・合同企業説明会

採用に直結しないオープンセミナーを年内から開催する企業が増えています。単なる会社の説明だけではなく、より深い仕事研究の一助となるセミナー内容が多くあります。また、11月頃から就職情報各社が開催する合同企業説明会も始まります。複数の業界をまとめて回ることで自分の適性を探れるといった、単独の企業セミナーとはまた違った良い点があります。

[3] エントリーシート

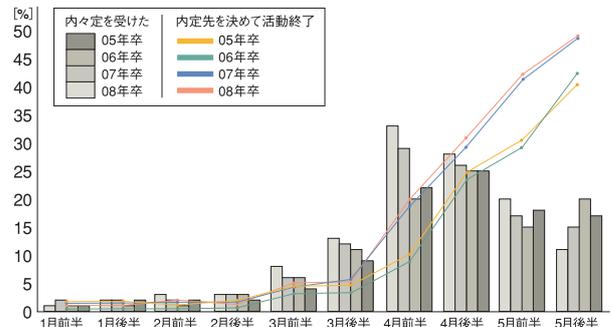
人気企業の人事であれば何千枚ものエントリーシートをチェックすることになりますので、マニュアル頼みでは人事の記憶には残りません。エントリーシートは「自分」という商品売り込む企画書だと考えてください。

[4] 面接

業界や企業によっては年内からというところもありますが、増え始めるのは2月から、経団連の倫理憲章を遵守しているところであれば4月からになります。弊社調査において、企業に面接の際に重視するポイントを聞いたところ、「人とコミュニケーションがはかれるか」(94.0%)、「向上心をもって前向きに行動するか」(91.2%)、「入社意欲がどれだけ強いのか」(82.9%)といったポイントが挙げられました。

[5] 内々定(内定)

最近では内定辞退の懸念から、企業によっては学生の拘束を強めているところもあるようですが、たとえ内定受諾書を提出したとしても法的拘束力はありませんので辞退は可能です。ただし、内定受諾後の辞退は企業側に多くの迷惑をかけることは知っておいてください。



[表: 「内々定を受けた」及び「内定先を決めて活動終了」の時系列推移(マイコミモニター)]

私の就職活動記

My Job Hunting Experience

大学に入って授業やゼミ、学生会や学外での活動など様々な経験をする中で、就職活動はほとんど意識していませんでした。本格的に就職活動を始めたのは3年生の2月中旬、周りの同級生よりも少し遅いほうだったと思います。

インターネットの就職情報サイトに登録し、まずは興味のある企業を探しました。そして説明会に足を運び、エントリーする、これは誰もがやっていることでした。ただ私の場合、3月中旬になっても、エントリーした企業は10社にもなりません。

この頃には、早い業界は最終面接に進んでいます。最初は「業界が違うから」と自分に言い聞かせて、安心しようとしていました。でも、ついに友人にも内定が出始めました。そして、このままでは就職できないのでは、と危機感を覚えたのです。

それから、私はひたすら考え続けました。生涯をかけて成し遂げたいことは何か。それを達成できる組織はあるか。ここでしたい仕事はできるのか。それまでの自分の活動を振り返り、ひたすら考え続けた結果、ようやく答えが出ました。

私は、自分以外の誰かのためになるようなことをしたい。「誰か」は、できるかぎり多くあってほしい。目の前のたったひとりに喜んでもらうより、目には見えなくとも大勢の人の役に立つようなことがしたい。そのための手段は何でもいい。

これが、私の見つけた「軸」でした。就職先を選ぶ基準は、職種や金銭的な条件など人それぞれです。私の軸は、社会に出てもずっと大切にしたい自分の「夢」でした。

こうして夢を再確認した私は、もう一度企業探しからやり直すことにしました。就職情報サイトや雑誌をこまめにチェックし、自分の軸に少しでも適う企業を探しました。とはいえ、エントリーできる企業数は1ヶ月前に比べて確実に減っていました。

4月第1週、友人たちが面接ラッシュで忙しくしている間、私は真面目に授業に出ていました。けっして余裕があったわけではなく、諦めにも似た気持ちでした。

それでも第2週になると、それまでとは違う業界の説明会に行ったり、新たにエントリーしたりしました。とにかく何かしなければ、という思いが強かったのです。

このように少しでも前に進む力を与えてくれたのは、周囲の人との対話でした。既に内定の出た友人が話を聞いてくれたり、就職活動中の友人とお互いを励ましあったり、先輩

にアドバイスをもらったり。単なる情報交換ではなく、同じようにがんばっている友人、がんばってきた先輩との対話は「私もがんばろう」という気持ちにさせてくれました。食卓での家族との対話も、大事な時間でした。親と話をして何が参考になるのか、と思われるかもしれません。でも、私にとって家族は自分を無条件で応援してくれる存在、迷いも決断も、ただ聞いて私の後押しをしてくれる心強い味方でした。家族との対話は、自分の軸を再確認するいい機会だったのです。



経営学部4年
麻田 有里

そして4月末、シンクタンクから内々定をいただきました。やっと手にした内々定に喜びつつも、迷いが捨てきれず、2週間返事を待ってもらいました。

迷っていた理由は2つ。まず、自分のやりたいことが本当にできるのか自信が持てなかったこと。2つめは、就職活動がうまくいかず悩んでいた私にゼミの先生が勧めてくださった、進学を考えていたことでした。

幸いにも若手社員の方にお会いすることができ、この迷いは晴れました。シンクタンクでどのような仕事ができるか、システムエンジニアとしてその仕事にどう関わるのか、ということをつくり聞かせていただき、自分の軸に合っていると感じました。そして、院に進学するよりも自分の夢が早く実現できると思い、最終的にこの企業で働くことを決めました。

よくコンピュータに強いのかと訊かれますが、まったくそのような知識はありません。それでもこの仕事に決めたのは、自分が開発・運用に携わるシステムが人の役に立つものであるだろうこと、その人たちの顔は見えなくともかなりの数であろうこと、を確信できたからです。そのために必要な知識や能力は、これから身につけていけばいいと思っています。



先輩からのメッセージ

Message from Graduates



井野口 智昭

神戸大学医学部附属病院 手術看護師
[2006年 医学部保健学科看護学専攻卒業]

佐々木 和佳

三井ホーム株式会社横浜支店
[2004年 工学部建築学科卒業]

私が看護師として働いている手術部は、一般にイメージされる病棟とは看護の内容が違います。手術室で手術や麻酔の介助、手術中の管理などを行い、特殊性が強いです。手術前、病室に患者様を訪ねることから仕事が始まります。手術当日の流れなどを説明するとともに、患者様についての情報を確認します。そして当日、手術室を整え、器械を準備して、患者様を迎えます。手術が始まると「器械出し」と「外回り」に分かれて、手術の介助や患者様のケアをします。働き始めたころは、イメージしていた看護師の姿でないのに戸惑ったり、看護になっているのかと悩んだりしました。しかし慣れるにつれ、患者様は何を知りたいのか、自分が患者様だったら、などと考えられるようになり、限りある患者様との時間の中で自分なりに行動できるようになりました。これが手術室での看護なんだと実感しています。

看護師を志すきっかけは、高校3年の夏、肺炎による2週間の入院でした。不安に包まれているとき、私の祖父や親くらいの年齢の同じ病室の方々に親切にしてもらい、いろいろな話もさせていただいたのです。受験をひかえた高校生の私にとって、学校を離れ、世代がかなり違う方々と接したのは大きな経験でした。そして、病気の方に少しでも役立ちたいと思ったのです。

自分の進路や仕事を決めるのは、容易ではありません。私の場合は少し特殊でしょうが、日常の中での経験やちょっとした興味から仕事を考えていくのも、一つの方法かもしれません。

支店に勤務して3年目、仕事は設計補助です。営業担当、コンサルタント（一般的に匠と称される方々）、工事担当、設備業者の間にたち、図面の整合性を調整し、契約から工事着手までのスケジュールを立て、予定通り着工させるのが主な役割です。私を良く知る方々は、お前で大丈夫かと心配になるでしょう。胸をはって大丈夫とは言い切れませんが、苦手なことでも2年も経てば、少しはできるようになるものです。

後輩の皆様にお伝えしたいのは、人と人をつなぐ今の仕事をする上で、とても役立っている学生時代の体験です。それは、サークル活動を通して得ることができました。複数の他人が共通の目的をもち、ひとつになって物事に取り組む。そのために欠かせないのが、お互いをよく理解するためのコミュニケーションでした。それぞれがチームの目標をきちんと理解しているか、達成のために何ができるか、何をしたいと思っているのか。

私はもともと他人に干渉するのが嫌いで、他人に関心もない性格でした。しかしコミュニケーションが取れた状態で活動すると、一人ひとりがチームにとって有効な努力をし、その積み重ねで結果が出るのを体感したのです。

目標を達成するためには、「周りに興味ないしい」とか言っておれません。みなさんも何か伝えたいこと、やりたいことがあるなら、相手に伝わったと思うまで時間が許すかぎりことん伝える努力をしてみてください。就職活動での面接に限らず、社会に出てからも自己実現のために役にたつはずですよ。

インターンシップにチャレンジしよう

Internship Challenges



法学部4年

山田 悠紀子

欧州委員会の記者会見場にて

私は昨年9月、EUインスティテュート関西 (EUIJ関西) から援助をいただき、日本の新聞社のブリュッセル支局 (ベルギー) で2週間のインターンシップに参加することができました。海外でのインターンシップを志望したのは、英

語が好きだったことと、世界中で仕事がしたいと思ったからです。

具体的な仕事内容は、通信社が発信する英語の速報を毎日読み、EUやNATOに関するニュースを集めて要約し、支局長に報告するというものでした。馴れるまでは苦労しましたが、支局長やスタッフの方々のフォローで、トラブルなく終わることができました。また、ヨーロッパやベルギーの情勢、さらには新聞記者というお仕事の面白さや苦労などを話していただき、とても勉強になりました。

インターンシップを通して、EUの政策や日々の動きなどを肌で感じる事ができましたし、普通には入れない欧州委員会の内部にも入れました。EUという大きな組織について多少なりとも取材をしたり調べたりしたことで、今まで以上に国際政治が動く現場というものに興味を持ちました。さまざまな政策が決定されるまでの過程をもっと研究してみたいと思い、今は大学院進学に向けて勉強しています。



発達科学部4年

吉川 貴大

私のインターンシップ先は、スポーツ用品メーカーです。配属されたのは、アジア・オセアニア営業部。大学で専攻している身体行動論とは、全く関係のない営業部門でした。

会議に参加して、マーケティングを考える。外に出て、自社工場を見学したり、通関業務を体験したり。一日中、パソコンと向き合っていたこともあります。最終日は、他の学生と意見交換して締めくくり、という内容でした。一番の思い出は、工場見学のさい、米大リーグのイチロー選手向けのグラブをはめさせてもらったことです。

社員それぞれが個人として仕事をこなしており、個人の責任が大きいこと

を実感しました。ビジネス社会という意味で感じたのは、言葉使いや礼儀はその会社を表すものとなるので、本当に気をつけなければならないということです。挨拶や顧客への対応など、社会人としての姿勢に触れることができたのは、非常によかったと思います。実際の物流や現物を見ることで、普段店頭に並んでいる商品の裏側の苦労を知ることができました。

自分の実習態度だけで、そのインターンシップが充実したものになるかどうか、本当に変わってくるとわかりました。話をよく聞くとともに、積極的に質問することをお勧めします。



大学院進学

Going On to Graduate School



自然科学研究科博士課程後期課程3年
[海事科学専攻]

柳 潤子 Yumja Yoo

韓国海洋大学校で学んだ私にとっては、航海士になることが一つの道でした。しかし物足りなさを感じて、すぐ就職を決めることが出来なかったのです。とりあえず進学して自分がやりたいことを見つけようと、同校大学院の情報関連分野に進みました。

2年生になって、神戸商船大学大学院の短期留学生募集を見た時、何となく挑戦してみたい気持ちになりました。この申込書が私の人生で、海洋大進学に続く2番目の重要な選択でした。

日本で生活は初めのころ、高い壁に囲まれているようで、自分の弱さばかりが見えてきました。でも、時とともに日本人友達ができ、壁が低くなって、自信が生まれてきました。1年間の留学を終えて韓国にもどり、海洋大で修士の学位を得て、商船大から神戸大になっていた大学院の博士課程に進学したのです。今は「人工衛星の信号処理」を研究しています。

今振り返ると、最初の留学生生活が、一番私をしっかり立たせた大切な時期でした。それは、色んな人々に支えられ、感謝が溢れる時期でもあります。先生と話し合いをすることにより、自分が何をやりたいのか、だんだん分かるようになりました。何よりも、研究を楽しく感じるようになったのが一番大きな変化だったでしょう。

私は人との出会いが人生を一番大きく変える要因だと思うのです。出会いを大切にし、その縁を続けていくのが大事ではないでしょうか。また、新たなことに挑戦することも自分を成長させると思います。若い時は前が多少見えなくても、不安定で怖くても、自分の信念にしたがって進むべきではないでしょうか。



文学研究科修士課程2年
[文化動態専攻]

石橋 和也

「自分とは何か」「意識とは何か」。何千年も前から熱い議論が交わされてきた問いに、より専門的な観点からチャレンジしてみたいと、大学院に進学しました。

大学院ではもう少し細分化された研究をしています。関心領域はヒトの認知過程です。認知とは、ヒトなどが外界の対象を知覚した上で、それが何であるかを判断したり解釈したりする過程のことです。その中で最近、自分の顔の認知について取り組みました。

顔を写真で見て、「何だか自分じゃないみたい」といった違和感を覚えることはないですか。写真が正像であるのに対して、鏡は鏡像反転したもので、ほんの少し異なっています。このことから僕たちは次の仮説を立てました。「私たちは自分の顔を鏡で見る機会のほうが圧倒的に多い。そのため、心の中の「私」の顔は他者が思う「私」の顔とは異なり、見慣れている鏡像で構成されている。その結果、見慣れない正像の顔に対して違和感を覚えてしまう」。この仮説を検証するために、反応時間などの物理量を尺度とした心理実験を行いました。その結果は、僕たちの予想通りでした。

最近、この結果をまとめて専門雑誌に投稿し、何度かの審査を受けて受理されました。また、Vision Sciences Societyというアメリカで行われた国際学会でも発表しました。自分の研究が他の研究者に認められ、論文や学会発表という形で公開されることは、研究生活の醍醐味のひとつだと思います。

大学院に進んでから一年半がたちました。学部生のときは比べられないほどに濃密な時間でした。文系の大学院進学にはデメリットがつきものだといわれていますが、研究を続けることでしか得られない経験もたくさんあります。そんな大学院生活もなかなかおすすめです。

東京オフィス

Tokyo Office

4年目に入った神戸大学東京オフィス

神戸大学東京オフィスのスタートは、平成16年4月15日。場所は、東京・丸の内にある帝劇ビル地下2階、東京凌霜クラブの一隅である。同クラブは、神戸大学の同窓会施設。同じビルには、明治42年に神戸大学の前身校神戸高商を卒業した出光佐三氏が起業した出光興産本社や出光美術館がある。出光氏ら古い卒業生の尽力で、41年前に交通至便の地に同窓会の拠点を持つことができた。

長い歴史を誇る同窓会施設内にあるから、全学部、各世代の卒業生たちとコミュニケーションをはかることは容易だ。総合商社志望の就職活動中の学生が訪れ、来訪中の先輩商社マンから海外体験談を聞く。そんな風景が時々見られる。三菱商事、丸紅、伊藤忠商事、住友商事や三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行等の在籍者たちは、毎日誰かが凌霜クラブや当東京オフィスに顔を見せる。自然科学系の学生に人気がある富士通、日本IBM、NTTデータの現役社員も顔なじみ。先輩訪問の取次ぎは容易である。また、他業界、他企業（団体）であっても、できる限りツテを辿り先輩を紹介することができる。これまで、高島屋OBや電通OB、また三菱UFJリサーチ&コンサルティング現役研究員等を紹介してきた。今年はジェトロの志望者が多く、4人の学生をジェトロの先輩に紹介した。

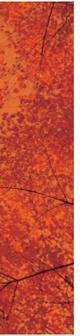
帰りの新幹線までに「少し時間があるので来ました」という学生もいる。特に用がなくても来ていただきたい。これが当オフィスのスタンスだ。この6月、今春の卒業生（広告会

社勤務）が遊びに来てくれた。「就職活動中は来る暇がなかったので、のぞいてみました」というのだ。広告業界志望学生が、「先輩」として会ってもらえることになる。

首都圏での情報収集・発信を行うことにより、神戸大学の知名度を高め、イメージアップをはかる。これが「神戸大学

東京オフィス」の主目的である。同時に卒業生との関係を密にし、在学生の就職活動を支援できる幅広いネットワークを作り上げていくことも心がけている。また、神戸大学が首都圏で開催する各種イベント（神戸大学東京フェア、進路説明会など）の集客、PRなども行ってきた。また、昨年若手世代の卒業生が中心の「若手の会」をスタートさせ、大先輩たちの注目を集めている。神戸大学教職員、学生、ご父兄、卒業生の皆さん。東京にお越しの際は是非「神戸大学東京オフィス」にお立ち寄りください。

（神戸大学東京オフィス コーディネーター 植村達男）



〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1帝国劇場ビル地下2階
神戸大学東京凌霜クラブ内
TEL: 03-3211-0032 Fax: 03-3211-3147
E-mail: tokyo-office@kobe-u.com

【神戸大学東京オフィス】
※月～金 10:00 - 17:00
※夏期冬期の休暇等ありますので事前に連絡いただければ確実です。また、就職相談の場合は関連企業や団体に勤務するOB・OGをアレンジできるよう努力しています。できるだけ事前にご連絡ください。
※パソコン、プリンター等の利用が可能。また、コーヒー等の飲料は無料で提供しています。コーディネーター:植村達男(経済卒)・渡辺あゆみ(農卒)・松原悦枝(文卒)



交通案内

- JR山手線・京浜東北線「有楽町」駅より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線「有楽町」駅より徒歩1分
- 都営地下鉄三田線「日比谷」駅より徒歩1分
- 東京メトロ千代田線「日比谷」駅より徒歩3分

平成18年度学部卒業生・大学院修了者の主な就職先

文学部・文学研究科

- 講談社
- 電通
- 読売新聞大阪本社
- 朝日新聞社
- 三菱商事
- 三井住友銀行
- 三菱東京UFJ銀行
- 日興コーディアル証券
- 住友生命保険
- 大阪学芸学校教員
- 大阪府立淀川高校教員
- 兵庫県立篠山鳳鳴高校教員
- 神戸学院大学附属高等学校教員
- NOVA
- 近畿財務局
- 大阪市立図書館
- 兵庫県庁
- 神戸市役所

国際文化学部・総合人間科学研究科(国際文化学系)

- 外務省
- JICA
- 丸紅
- 三菱商事
- 伊藤忠商事
- 三菱重工
- 日立製作所
- 東芝
- 三菱電機
- 富士通
- NEC
- 川崎重工業
- マツダ
- ダイハツ工業
- 京セラ
- 神戸製鋼所
- ダイキン工業
- NTTコミュニケーションズ
- 東京海上日動火災保険
- 三井住友カード
- JR西日本
- 全日本空輸
- 新潮社
- リクルート

発達科学部・総合人間科学研究科(発達科学系)

- 住友林業
- 東急建設
- パナホーム
- 日本食研
- 日本食品分析センター
- アシックス
- ユニチカ
- ワコールホールディングス
- 朝日新聞社
- 数研出版
- 神戸新聞社
- 凸版印刷
- 旭硝子
- カネボウ化粧品
- 武田薬品工業
- 三菱重工業
- 日立製作所
- 富士通
- INAX
- 全日本空輸
- NECソフト
- テレビ朝日
- 電通
- 日本総研リサーチ
- リクルートHRマーケティング
- 住友商事
- そごう
- 高島屋
- 関西アーバン銀行
- 住友信託銀行
- 日興コーディアル証券
- 三菱東京UFJ銀行
- 日本生命保険
- アップ教育企画
- JT
- 国土交通省
- 愛媛県庁
- 神戸市役所
- 幼・小・中・高教員

法学部・法学研究科

- 味の素
- グンゼ
- 東芝
- キヤノン
- 関西電力
- 近畿日本鉄道
- 大和証券グループ
- 奈良先端科学技術大学院大学
- 大和ハウス工業
- 中央出版
- 安川電機
- ヤンマー
- NTT西日本
- 丸紅
- 住友不動産販売
- 神戸市役所
- 三菱化学
- 三菱重工業
- ダイキン工業
- 日本たばこ産業
- 時事通信社
- 三井住友銀行
- 司法研修所
- 兵庫県庁

経済学部・経済学研究科

- 三菱東京UFJ銀行
- みずほフィナンシャルグループ
- トヨタ自動車
- NTT西日本
- 住友商事
- 三井住友銀行
- 京都銀行
- 損害保険ジャパン
- 住友生命保険
- 富士通
- 日本生命保険
- 東京海上日動火災保険
- NTTコミュニケーションズ
- 中国銀行
- 三菱UFJ信託銀行
- 第一生命保険
- あずさ監査法人
- ケラレ
- JFEスチール
- シャープ
- 東芝
- ダイキン工業
- 関西電力
- 東京電力
- 日本総合研究所
- 三井住友海上火災保険
- 住友信託銀行
- 山口銀行
- りそなグループ
- 近畿財務局
- 神戸税関
- 名古屋市政府
- 松下電器産業
- 大阪ガス
- 博報堂
- NHK
- JR西日本
- 兵庫県庁
- 神戸市役所

経営学部・経営学研究科

- みずほフィナンシャルグループ
- 三井住友銀行
- トヨタ自動車
- 三菱東京UFJ銀行
- 資生堂
- 日本生命保険
- 損害保険ジャパン
- リクルート
- 監査法人トーマツ
- 三菱UFJ信託銀行
- 大和証券グループ
- 第一生命保険
- 阪急電鉄
- サイバーエージェント
- 東洋紡績
- P&G
- 日本板硝子
- 三菱重工業
- ダイキン工業
- クボタ
- シャープ
- マツダ
- 住友商事
- 野村證券
- 電通
- CSK
- アクセンチュア
- 大和総研
- 積水ハウス
- キリンビール
- 味の素
- 花王
- 松下電器産業
- 日立製作所
- ソニー
- NEC
- 三井物産
- 東京海上日動火災保険
- ベネッセコーポレーション

医学系研究科(バイオメディカルサイエンス専攻)

- 中外製薬
- 大鵬薬品
- 久光製薬
- シスメックス
- 藤本製薬
- ノエビア
- オーソクニカル・ダイアグノスティクス
- NEC
- エプソフアーマ
- リクルートR&D
- 東和薬品
- 新日本科学
- 保健科学研究所
- 小野薬品工業
- 三和科学研究所

医学部(保健学科)・医学系研究科(保健学専攻)

- 神戸大学医学部附属病院
- 大阪大学医学部附属病院
- 京都大学医学部附属病院
- 神戸学院大学
- 三木市民病院
- 大阪府立病院機構
- 栄栄会 土井病院
- 松下記念病院
- 大阪ガン免疫化学療法センター
- 兵庫県立総合リハビリセンター
- 北野病院
- 愛仁会
- 大阪府済生会中津病院
- ファルコバイオシステムズ
- 帝人
- 大阪河崎リハビリテーション大学
- 四條畷学園大学
- 神戸大学
- 京都市役所
- 関西医科大学附属枚方病院
- 大手前病院
- 三田市民病院
- 虎ノ門病院
- 神戸リハビリテーション病院

理学部・自然科学研究科(理学系)

- 積水ハウス
- 大日本印刷
- P&G
- 住友化学工業
- 日本触媒
- 中外製薬
- YKK
- キヤノン
- 住友電気工業
- 三菱電機
- 村田製作所
- 住友化学工業
- 大日本スクリーン製造
- いすゞ自動車
- NTTデータ
- NECシステムテクノロジー
- TIS
- オージンス総研
- 富士通ピー・エス・シー
- 阪急電鉄
- NECシステムテクノロジー
- ユニクロ
- 三菱東京UFJ銀行
- 日本生命保険
- リクルート
- 中学・高等学校教員

工学部・自然科学研究科(工学系)

- NTTデータ
- KDDI
- 旭硝子
- カネカ
- 大阪府庁
- 大林組
- 島津製作所
- 花王
- クボタ
- 川崎重工業
- 関西電力
- キヤノン
- 神戸製鋼所
- 鹿島建設
- 清水建設
- シャープ
- 全日本空輸
- 住友コム工業
- 住友化学工業
- 住友電気工業
- 積水ハウス
- ダイキン工業
- ダイハツ工業
- 竹中工務店
- デンソー
- 積水化学工業
- 帝人
- 東邦ガス
- 東芝
- 東レ
- トヨタ自動車
- デンソー
- 大和ハウス工業
- JR西日本
- 日揮
- 日産自動車
- 日東電工
- 日本板硝子
- NEC
- 野村総合研究所
- 阪急電鉄
- 神戸市役所
- NECシステムテクノロジー
- 日立製作所
- 任天堂
- 富士通
- 富士通テン
- ブラザー工業
- 兵庫県庁
- 三菱電機産業
- 松下電工
- NTT西日本
- 三井物産
- 三菱化学
- 三菱重工業
- 三菱電機
- 村田製作所
- ヤマハ
- ソニー

農学部・自然科学研究科(農学系)

- タキイ種苗
- キュービー
- 日清食品
- 東レ
- 大日本住友製薬
- 新キヤタビラコ三菱
- 越田クリニック
- 農林水産消費技術センター
- UHA味覚糖
- ロックフィールド
- サントリー
- ライオン
- 日本ベーリンガーインゲルハイム
- 日本山村硝子
- 全国農業協同組合連合会
- 大阪府庁
- 明治製菓
- 伊藤ハム
- 森永乳業
- エーザイ
- 花王
- 三井住友銀行
- 日本食品分析センター
- 奈良市役所

海事科学部・自然科学研究科(海事科学系)

- 日本郵船
- 川崎汽船
- 住友化学工業
- 神戸製鋼所
- 三菱電機
- 東芝
- 常石造船
- 三菱重工業
- 三井造船
- ダイハツディーゼル
- 島津製作所
- センコー
- 上組
- 日本通運
- 日本原子力研究開発機構
- NEC通信システム
- 富士通テクノロジー
- 日本海事協会
- リクルート
- JICA
- 非破壊検査
- スズキ
- 国土交通省

国際協力研究科

- 日立製作所
- 松下電器産業
- カシオ計算機
- マツダ
- プリヂストン
- 大和総研
- NTTデータ
- 日本IBM
- 三菱商事ロイヤリティ
- JR西日本
- みずほ信託銀行
- 中小企業金融公庫
- 兵庫県庁
- 神戸新聞社
- 共同通信社

備考:1. 大学院修了者は、修士課程・博士前期課程のみ掲載しています。
 2. 「主な就職先」の掲載数は、各学部・研究科毎の就職者数を考慮しています。
 3. 各学部・研究科毎の全就職先は、10月初旬発行の就職ガイドブックに掲載します。



神戸大学と地域連携活動

神戸大学では、大学の持つ知的成果を地域社会へ還元する「地域連携」を、「教育」「研究」と並ぶ第三の使命と位置づけています。全学的な協力体制を作り、学部間の調整を担当しているのは地域連携推進室です。人文学研究科、農学研究科、医学部保健学科の3部局には地域連携センターを設けています。また県内自治体と連携協定を結んで、さまざまな事業を展開しています。

例を挙げてみましょう。人文学研究科地域連携センターは、小野市との連携協定に基づき2005年秋、第一次世界大戦中のドイツとオーストリアの俘虜収容所を取り上げた「青野原俘虜収容所の世界」展に協力しました。

資料の展示だけでなく、人間発達環境学研究科や人文学研究科の教員、神戸大学交響楽団の有志が協力し、俘虜たちが1919年に開催した音楽会を再現しました。2006年には学内でも資料展、音楽会(写真)を開きました。



学内で開かれた音楽会

このように、地域連携事業は一度動き出すと、次々と学内外の人達を巻き込み、思いがけない展開をもたらしています。関わった教員や学生・院生達にとって、学内だけでは体験できない学びの場を得ていると言えます。

(地域連携推進室)

自治体との地域連携協定

(2007年6月末現在)

協定先	締結日	目的
神戸市灘区	04.12.02	地域福祉向上、産業振興、教育・文化・スポーツの振興及び発展、人材育成、まちづくりのための連携
小野市	05.01.25	文化・教育及び学術の分野で援助・協力し、生涯学習等に関する諸課題や文化遺産を活用した地域との連携事業について共同で研究等に参画
朝来郡生野町 ※05年4月合併により朝来市	05.03.23	文化・教育及び学術の分野で援助・協力し、生涯学習等に関する諸課題や文化遺産を活用した地域との連携事業について共同で研究等に参画
兵庫県 ※まちづくり復興担当部	05.12.02	県下の市町や県民が取り組むまちづくり、文化及び学術の分野で連携し、地域の歴史的資源の活用、優れた景観の形成等を通じたまちづくりに関する調査・研究
兵庫県	06.11.18	少子化に関する調査研究及びその成果の普及等において連携、協力
篠山市	07.04.05	地域課題の解決、産業振興、まちづくりの分野での相互協力によって、双方の活性化と人材育成に寄与
神戸市東灘区	07.06.20	人材や知識などの資源を活用し、人材育成と地域活性化に寄与

古文書調査を通した町おこし

兵庫県丹波市春日町棚原地区ではもともと、歴史好きの方々が町内の歴史遺産を掘り起こす活動をしていました。2006年、古文書や絵図などを解読し地域活性化に利用できないかという要望を、大学に寄せられました。センターは市教委と協力し、2、3ヶ月おきに現地に出かけ、一緒に古文書の解読作業や目録整理などをおこない、また公開の「古文書を読む会」を開いています。さらに活動の成果を、県主催の「地域文化財展」に展示する作業もしました。メンバー13人の活動意欲は高まり、今後は子供たちも巻き込んだ活動も計画しています。07年度後半からは、地区の活動をモデルに全市規模での古文書調査・活用事業も進められることになりました。(人文学研究科地域連携センター)



古文書の目録整理の様子

鎮守の森を守る

社寺林は自然環境として貴重なだけでなく、気象緩和作用や大気浄化作用など環境保全機能を保有しています。しかし都市域の森林は人工環境に浮かぶ孤島のような状態で、希少種が絶滅するなど、様々な問題を抱えています。一方で神社や寺院は、森林の荘厳性を維持するため立ち入りを禁止し、手入れを行わないのが普通でした。農学研究科森林資源学研究室は様々な社寺林を調査し、植生管理について所有者や行政と検討しています。兵庫県の天然記念物に指定されている西宮神社の森では、2007年度より県や西宮市の教育委員会と連携して、散策会やボランティアによる清掃、植生管理作業を実施することになりました。(農学研究科地域連携センター)



天然記念物に指定されている西宮神社の森

すまいる・ぽつとらっく

発達障害のある子ども達を支援する「すまいる・ぽつとらっく」は、神戸市須磨区の旧小学校跡「すまいるプラザ大黒」にあります。地域に根ざした早期支援の仕組みをと、市や区と協力して2007年度に開設しました。保護者が発達障害について学ぶ「講習会プログラム」と、受講している間、ボランティアが子ども達と一緒に遊ぶ「子どもプログラム」を行います。5月と6月は、ボランティア・スタッフ研修会を行いました。医学部保健学科を始め多くの学生、大学教員、NPOスタッフ、学童保育のスタッフの方々が参加しました。7月からは実際に子ども達とご家族が参加され、本格的な活動が始まりました。

(医学部保健学科地域連携センター)



ボランティア・スタッフ研修会

のびやかスペース あーち

神 戸市の灘区役所旧庁舎に、本学大学院人間発達環境学研究科のサテライト施設「のびやかスペース あーち」があります。行政と大学とが連携して開設（2005年9月）したという点では、全国でも珍しい施設です。火曜日から土曜日の週5日間、朝から夕方まで開館しています。ここでの諸活動のうち、子育て支援について紹介します。

社会全体で子育てを応援するという実践は盛んになってきました。支援の内容や方法は様々ですが、「予防的支援」と「介入的支援」とに大別できます。「あーち」の子育て支援は予防中心です。つまり、子育て中の親が「地域のなかで孤立することなく、子育ての仲間をつくりながら、情報交換などを通じて互いに学びあうことにより、自信をつけて楽しく子育てをする」ことを目指しています。このような支援が社会貢献となり、その成果をモデルとして提示することが私たちの研究になっています。具体的には、次のような事業を展開しています。

ま ず、主に在宅で育児をしている親子が自由に遊びにくる「ドロップイン事業 ふらっと」があります。毎日、好きなときに来て好きなときに帰ることができ、育児の仲間をつくる場・育児に関する情報交換ができる場を提供しています。また、相談員も配置されていて、親子と一緒に遊びながら育児上の不安や悩みなどの相談が自然な形で始まる工夫をしています。授乳室やオムツ替えのベビーベッドがあり、ランチタイムもあるので、長時間利用も可能です。親子会員は、2007年6月末現在で1,100組を超え、2006年度には14,478人がこの「ふらっと」を利用しました（開館日数242日、1日平均30組の親子）。利用者の多くは、0歳～3歳の乳幼児とその親ですから、子どもが保育所や幼稚園に入るまでの時期にある家庭のニーズに役立っていると思われる。

「ふらっと」には、親子が楽しめるミニプログラムもあります。行政と連携して、「神戸市地域子育て支援センター灘」と「灘区内の公立保育所（7か所）」がチームを組み、週1回「おひさまひろば・あーち」を担当しています。手遊び・歌遊び・エプロンシアターなど、出し物は多彩です。これは、保育所の子育て支援業務（在宅育児をしている親子のニーズ把握）としてもおこなわれており、大学と行政とが対等な関係で連携している好事例です。また、利用者である母親たちが立ち



ベビー・マッサージ

上げた「スリング交流会」「ベビー・マッサージ（写真）」も好評です。このように、「ふらっと」は、利用者にとって単に支援を受けるだけでなく、自らが支援者となって主体的に地域に貢献できる場に成長しています。

「ふらっと」以外では、地域の父親・母親に子どもの月齢（年齢）に応じた育児のあり方を学ぶ機会を提供する「0歳児および1歳児のパパママセミナー（5月～12月・月1回）」や、青少年に命の大切さを学ぶ機会・子育てや子育て家庭に対する肯定的な態度を形成する機会を提供する「小学生・中学生の赤ちゃんふれあい体験学習（5月～12月・月1回）」があります。この体験学習は、2005年度から3年間連続で神戸市より業務委託を受けています。

最 後に、今後の抱負です。それは、2006年度に助産師である修士課程の学生が実践研究としておこなった、「あーち」を拠点とする「アウトリーチ」機能の充実です。アウトリーチ・ワーカーが、地域の産婦人科施設に出向き、妊婦とそのパートナーに「あーち」のプログラムを紹介し、出産後には、複数回の家庭訪問をおこない、親の多様な相談に応じながら、「あーち」も含めた地域の子育て資源に段階的につないでいくという事業です。「引越してきたばかり」などの理由で孤立しがちな家庭が、妊娠・出産期から地域に温かく迎えられられるというこのような取り組みは、今後ますます必要とされる予防的子育て支援だと考えています。

（人間発達環境学研究科教授 伊藤篤）

サイエンスカフェ神戸

神 戸大学のほど近くに、古い民家の建物を利用したお洒落な“オーガニック”喫茶があります。応接間であった洋間や隣接する和室にアンティークな机や椅子が並び、窓からは緑美しいガーデンがのぞまれます。4月のとある金曜日の夕方、この喫茶店で“サイエンスカフェ神戸”が開かれました。参加者は30人ほど、会場が一杯か、少しあふれるくらいです。高校生や、ご夫婦もおられます。

この日の話題は、「宇宙の使い方」。ゲストの話題提供のあと、宇宙利用のあり方についてみんなで語りあうという流れです。宇宙はどんな分野で利用されているか、最近の宇宙観測衛星の紹介、この夏打上げ予定の月周回衛星セレーネ、建設が進む国際宇宙ステーション、宇宙利用のあり方見直しの動き…。2月には中国による衛星破壊実験のニュースもあり、宇宙ゴミの話題でも盛り上がりました。「宇宙基本法の話ははじめて聞いた」、「宇宙の探査より環境問題の解決にお金を使うべきではないか?」、「科学者は、すぐに役に立つ研究だけでなく、夢を追うような研究をしてほしい」など、いろいろな意見が出ました。

“サイエンスカフェ”は、街のカフェなどで専門家と市民が科学の話題について語り合う新しいコミュニケーションの場として、1998年にイギリスで始められたものです。“サイエンスカフェ神戸”は、神戸大学大学院人間発達環境学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センターのプロジェクト研究の一環として、「文化としての科学」を神戸の地に根づかせたいという思いから2005年にスタートし、現在までに30回あまりを開催してきました（ホームページ：<http://scicafe.h.kobe-u.ac.jp/>）。参加者が「語りあう」場となるよう、一回の規模をあまり大きくせず、できるだけ頻繁に開催しています。

開 催場所はさまざま、お洒落な喫茶店、灘の酒蔵を改修した木造のホール（おいしいお酒も飲めます）、北野の美術ギャラリー、博物館や美術館の喫茶室などなど、「神戸らしい」場所を多く選んでいます。「科学の講演会のようなものには無縁だったけど、あそこでやるなら行ってみようかな」、「実は前から宇宙論のことが気になっていた」、「ダークエネルギーのことが知りたい」といった主婦やOLの方にも出会いました。

運営には、学生や市民も参加して下さっています。先日は、“常連”の一人がご自身で集められた資料を使って「伊能忠敬の偉業と参考絵図」という話題を提供して下さいました。ホームページのデザインには工学部の学生が協力してくれました。市民の方が、ピアノの演奏と絵本の朗読を組み合わせたカフェを企画・開催して下さいました。さらに多くの方々がサイエンスカフェの活動に関心をもたれ、参加して下さいることを期待しています。

全 国で開催されるサイエンスカフェの中には、「科学はいかに優れた成果をあげ、社会に貢献しているか」といった雰囲気のカフェもありますが、私たちは、少し違った“スタイル”を志しています。ニューキャッスル大学のトム・シェークスピアさんは、イギリスのサイエンスカフェの“エトス”の一つとして、「科学の“critical friends”であること」をあげています。科学の「友人」でありつつも、時には批判的な意見や問いを投げかけてくれるという意味だと思いますが、サイエンスカフェ神戸もそうでありたいと願うとともに、「文化としての科学」が根をはり、「神戸の街では、毎日どこかの喫茶店で科学が語られている」といった未来を夢見しています。（人間発達環境学研究科教授 伊藤真之）



神戸ラーメンミュージアムのカフェで開かれたサイエンスカフェ

神戸大学基金にご協力をお願い

Kobe University Fund -We Need Your Help-

学長 野上 智行

神戸大学は2004年4月、国立大学法人として新たに発足いたしました。本学はすでに、百年を超える歴史の中で積み重ねた研究と教育の実績を評価され、国際的にも主要大学の一つとして認知されています。しかし、そのステータスはまだ十分なものとはいえません。

自ら策定した「神戸大学ビジョン2015」を実現し、研究と教育で世界に貢献できるトップクラスの大学として更なる発展を遂げるためには、財政的基盤の確立が不可欠になっています。とりわけ、本学独自の財源として運用できる大学基金の創設こそ喫緊の課

題と考え、2006年12月に「神戸大学基金」を創設いたしました。

募金はまず、本学の教職員を対象に始めました。2007年3月からは同窓生の方々にお願ひし、企業に向けた募金活動も展開しているところです。この間、多くの方々とお会いし、多額の寄附申し出や励ましのお言葉をいただきました。保護者の方々からもご支援をいただいております。今更ながら、熱く広い母校愛を実感し、意を強くした次第です。

今後ますます増大する社会の要請に応えるとともに、そこで学び研究することに大いなる誇りを持つてる大学として



確立するため、邁進いたす所存でございます。「神戸大学基金」に是非ともお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

はじめまして、この7月から理事の仲間に入れていただきました。担当は渉外・基金・経営改善です。

これからの大学の発展を考えると、何よりも経済的基盤の確立が最重要と認識を新たにしています。本誌でご覧の学生の皆さんの研究・学習・就職準備・サークル活動の環境を整え、大学各分野での優れた研究を進めるために、そして、先人が目指した世界に雄飛する神戸大学ブランドを確立するために、「神戸大学基金」という形で多くの皆様のご支援を頂きたいと切望しています。どうかよろしく申し上げます。



理事 安藤 幹雄

卒業50周年記念の寄付を受けました

1957年に神戸大学を卒業された「神五会」のみなさんが、卒業50周年の記念として、神戸大学基金に寄付されました。寄付は332人からで、合計173万3千円になります。6月20日に、世話人の堀功郎さん（法学部）から野上智行学長に手渡されました。「神五会」は新制神戸大学の5回生で組織されています。



「神戸大学基金」について詳しく説明したパンフレットを用意しています。お問い合わせも含め、事務局へご連絡ください。

神戸大学基金事務局 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL:078-803-5414 FAX:078-803-5024 E-mail:kikin@office.kobe-u.ac.jp
「神戸大学基金」については、ホームページでもご覧いただけます。 URLは <http://www.kobe-u.ac.jp/kobekikin/>です。

先輩登場

Alumni
Corner



シリン・ネザマフィさん

2006年大学院自然科学研究科修士課程修了
[情報知能学専攻]

就職が決まって、入社するまで半年あった。いったん母国のイランに帰り、日本語で書いた小説が、2006年留学生文学賞に輝いた。400字詰め原稿用紙なら、115枚ほど。3週間かけた。授賞式のあいさつやインタビューで、神戸大学に関係する2人に触れた。

親身に相談ののってくれた留学生センターの先生、もう一人は文章を批評し助言してくれた日本人の友人。「こういう出会いに恵まれなかったら、この小説は生まれなかったと思います」

1999年来日。大阪外大で1年間日本語を学び、神戸大学工学部に進んだ。神戸がきれいで住みやすい町だと先輩に聞いていたし、神戸大には勉強したい分野があったからだ。

初めのころ、大学生活は寂しかった。教室で、学生は近くに座ってくれないし、恥ずかしそうに目をそらしてしまう。気軽にノートの貸し借りができるようになったのは、専門課程に進んでからだ。

難民支援団体の依頼で入国管理局に出向き、通訳のアルバイトをしたことがある。絶望的な目をした男性が、アフガニスタンでの体験を語るうち、泣き出した。同じ部屋にいるのに、男性はガラスの向こう。こちらの自分は、涙の裏に何があるかも理解できない。ガラス1枚が隔てる2つの世界。この体験を、

いつか表現したかった。

受賞作「サラム」の登場人物は、アフガニスタンから来た少女、日本人弁護士、そして通訳の留学生。選考委員でもある作家の辻井喬さんは「日本語の表現力に優れ、文学的テーマが明確で、日本社会の閉鎖性が分る」と評した(朝日新聞)。

子供のころから、小説家になりたかった。「人を感動させることができるから」。受賞作は「世界」の2007年10、11月号に掲載される。夢に1歩、近づいた。

就職先はトップクラスの電機メーカー。感動したのは、社員の仕事に対する責任感の強さ。とりわけ上司は、日常業務の判断、部下の指導と、超人的にさえ思える。

残念なこともある。「みんな真面目すぎて、ノリがない。関西系の会社だから、期待してたのに」

神戸大学 校友会から

学長を囲む懇談会

神戸市内のホテルで5月28日夕、同窓生が学長を囲む懇談会が催されました。校友会の有志が主催する形で、ほぼ毎年1回開いています。

主催者を代表して難波昭・校友会副会長があいさつ。次いで、野上智行学長が「いま、日本の大学は厳しい環境、激動の渦中にあります。神戸大学は昨年末、目指すべき方向や目標を具体的に記した『神戸大学ビジョン2015』を策定・公表しました。2015年には国際的に卓越した大学になっていると内外に公言し、覚悟を決めて、目標実現に邁進するためです」と決意を述べました。

さらに学長は、世界の優れた大学ランキングで、神戸大学は200位以内、社会科学分野では80位台にランクされているなど、幾つかの具体例を披露。大学を挙げて努力して

いる状況を説明しました。

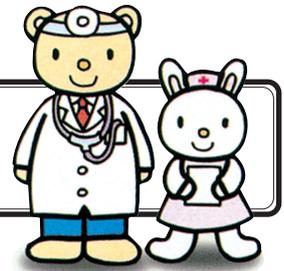
続く懇親会は「難局に際して、卒業生である私たちに何ができるかを考え、実行したい」と、凌霜会の堀功郎常任理事の音頭で力強く乾杯して開幕しました。テーブルごとに学長を囲む記念撮影の笑顔が集まり、和やかな同窓の対話が弾みました。

最後に紫陽会の高田嘉英会長が「母校の未来を語っていただき勇気をいただいた。大学基金へのご支援もよろしく」と、締めくくりました。



保健管理センターだより

Medical Center for Student Health



睡眠時間を犠牲にしないでっ!・・・ あなたの心と身体に休養を

卒業が近づくにつれ、研究や研究発表の準備で徹夜に近い生活を続け、気を失って倒れたり、救急車で病院に搬送されたりする方が出てきます。「自分はまだ若いから・・・」と油断していませんか？睡眠不足は突然死にもつながりかねない恐～いことなのです。

＋ 睡眠 5～6 時間以下で増える " 過労死 " リスク

"過労死" についての疫学調査では、睡眠時間が 5～6 時間以下になると脳溢血や心筋梗塞など脳・心臓疾患のリスクが増えることが知られています(図1)*1。平成 18 年 4 月に改正された労働安全衛生法でも、1ヶ月当たりの時間外労働時間が 80～100 時間を超える労働者(神戸大学では 80 時間を超える労働者)について医師による面接指導が行われることになりましたが*2、*3、これも、そのような労働者では 1 日当たりの睡眠時間が 5～6 時間以下になると推測されるからなのです。

＋ 睡眠不足による心身の不調

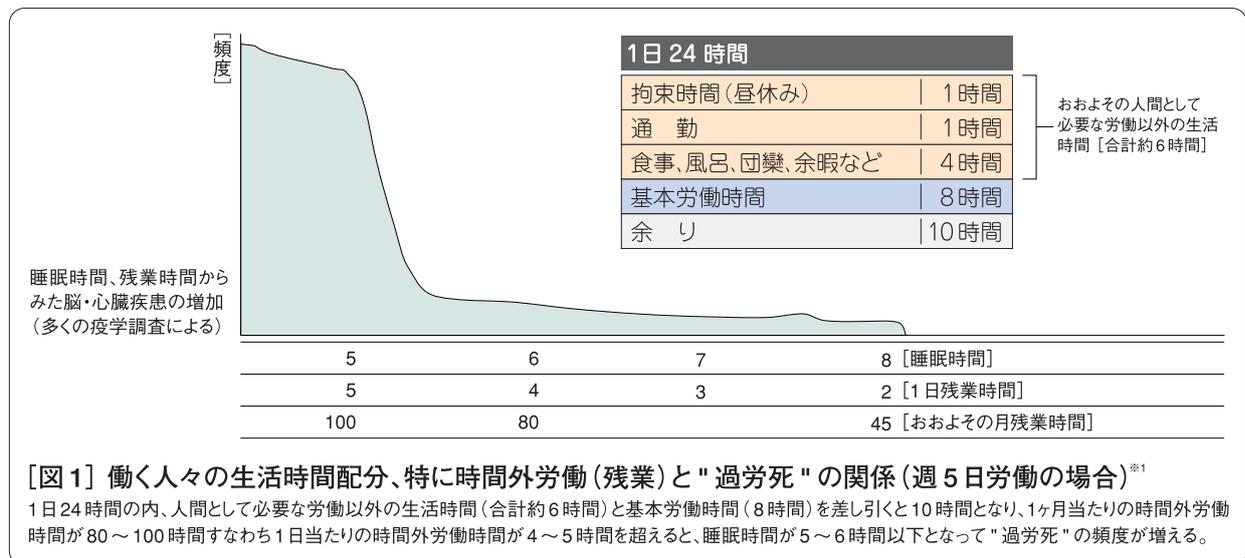
人が、本来必要とする睡眠時間より 2 時間以上少ない状態で毎日を送ると、週末に「寝だめ」をしても疲労は回復せず、昼間の眠気、集中困難、作業能率の低下、胃腸障害など心身の不調が生じてきます*4。また、睡眠不足は過食に関係し、その結果としての肥満が今日話題のメタボリック症候群や睡眠時無呼吸発作症候群に繋がるという指摘もあります。

＋ 「眠りたいのに、眠れない」は " うつ病 " のサイン!?

一方、「眠りたいのに、眠れない」といった睡眠障害や不眠を訴える方も増え、我が国では 5 人に 1 人の割合に達しているともいわれています*5。不眠の有る方は無い方に比べて、うつ病になるリスクが 3～4 倍高く、うつ病の患者さんの多くは不眠を訴えられます。24 時間社会とも言われる現代では、夜ふかしや過労が高じて睡眠障害や不眠になる方も増えています。

＋ 睡眠は頭の充電時間!

「NHK 国民生活時間調査」によると、日本人の平均睡眠時間は、1960(昭和 35)年から 2000(平成 12)年の 40 年間に約 1 時間短くなっています*5、*6。ライフスタイルの変化もさることながら、勉学や研究、仕事、遊興などのために睡眠時間が犠牲にされがちになっていることも事実です。睡眠は頭の充電時間!・・・ストレスの多い現代こそ、睡眠をしっかりとして心身の健康を保ちましょう!



【図1】働く人々の生活時間配分、特に時間外労働(残業)と"過労死"の関係(週5日労働の場合)*1

1日24時間の内、人間として必要な労働以外の生活時間(合計約6時間)と基本労働時間(8時間)を差し引くと10時間となり、1ヶ月当たりの時間外労働時間が80～100時間すなわち1日当たりの時間外労働時間が4～5時間を超えると、睡眠時間が5～6時間以下となって"過労死"の頻度が増える。

*1 厚生労働省労働衛生課(監修):産業医の職務 Q&A(第8版),産業医学振興財団,東京,2007
 *2 労働安全衛生法第66条,第104条
 *3 神戸大学職員安全衛生管理規定,第31条
 *4 菊川裕平:自殺とうつ病と睡眠,予防時報 228:8-13,2007
 *5 内科医のための生活習慣病と不眠治療,メディカル朝日 第36巻,第4号,2007
 *6 NHK放送文化研究所(編):日本人の生活時間,NHK 国民生活時間調査,日本放送出版協会,東京,2005

● お問い合わせ

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
 [神戸大学保健管理センター] ☎078-803-5245
 〒658-0022 神戸市東灘区深江南町 5-1-1
 [神戸大学保健管理センター深江分室] ☎078-431-6232

保健管理センターだより 71

(神戸大学広報誌「六甲ひろば」からひき続き連載)
 保健管理センターの詳細につきましては、保健管理センターホームページでも案内しています。
<http://www.kobe-u.ac.jp/medical/index-j.html>

主な出来事

Recent News & Events

2007年2月から7月までの主な出来事です。

神戸大学ホームページのトップページ<<http://www.kobe-u.ac.jp>>の

「お知らせ」などで詳しく見ることができます。

2月

- [9日] ●国際シンポジウム「大学教育のグローバル・コラボレーション～国際協力を担う人材育成について」を開催した。文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業の取り組み。先立って、国連平和大学やメキシコ、インドネシアなどの大学との間で学術交流協定の調印式が行われた。
- [16日] ●新しい理事体制がスタート。野上智行学長2期目の後半2年間、大学運営を担う。7人のうち6人は新任。

3月

- [24日] ●全学共通教育の「健康・スポーツ科学」が、(社)全国大学体育連合の顕彰事業である大学体育FD推進校表彰を受けた。
- [27日] ●神戸大などのグループがおうし座に巨大惑星を発見、と発表。散開星団で初めての太陽系外惑星になる。

4月

- [1日] ●大学院を改組・再編し、すべての研究・教育分野を学部から大学院(博士課程)に至る一貫した研究・教育の部局体制に整備するとともに、先端的研究の推進母体として自然科学系先端融合研究環を設置した。
●工学研究科内に先端膜工学センターを設立。大学での膜工学に関する研究センターは日本で初めて。
- [3日] ●工学部構内の工会会館1階に、コンビニ「セブン-イレブン神戸大学店」がオープン。同社によると、大学構内への出店は3店目、国立大学では初めて。
- [5日] ●農学研究科地域連携センターが、兵庫県篠山市と連携協力の協定を結ぶ。地域課題の解決や産業振興、まちづくりで協力しあい、双方の活性化と人材育成に貢献する。

- [6日] ●神戸ポートアイランドホールで平成19年度の入学式。新入生は学部学生2699人(うち外国人留学生23人)、大学院博士課程前期1269人(同118人)、同後期357人(同57人)、専門職学位課程170人、3年次編入課程215人の計4710人。

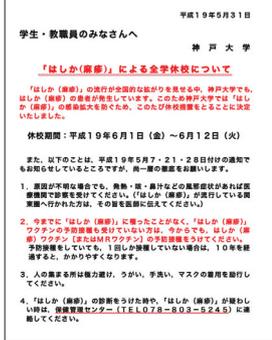
- [23日] ●インドネシアのアイランガ大学からFasich学長らが来訪し、大学間学術交流協定を締結。

- [25日] ●イタリア家族政策省のロージー・ビンディ大臣がEUインスティテュート関西の幹事校である本学を訪問し、「少子高齢化問題」をテーマに記念講演した。

5月

- [9日] ●百年史編集室が「旧制姫路高等学校 物理実験機器コレクション」を素材にバーチャルミュージアム(仮想展示室)を作成し、神戸大学のホームページで公開を始めた。
- [12日] ●財団法人神戸大学六甲台後援会が創立50周年を迎え、神戸ポートピアホテルで記念シンポジウムを開いた。
- [18日] ●平成19年度文部科学省の「女性研究者支援モデル育成」科学技術振興調整費事業の公募に、本学の『再チャレンジ女性研究者支援神戸スタイル』が採択された。

6月

- [1日] ●はしか(麻疹)の感染拡大を防ぐため、12日までの12日間、全キャンパスで、大学院を含む全学が休校した。
- [15日] ●学務部就職支援室を改組し、キャリアセンターが発足。1年次以降のキャリアデザイン支援から従来の就職活動支援を含むキャリアサポート体制の確立をめざす。
●文部科学省の平成19年度「グローバルCOEプログラム」の生命科学分野で、本学が応募していた「統合的膜生物学の国際教育拠点」(リーダー、片岡徹・医学系研究科教授)が採択された。

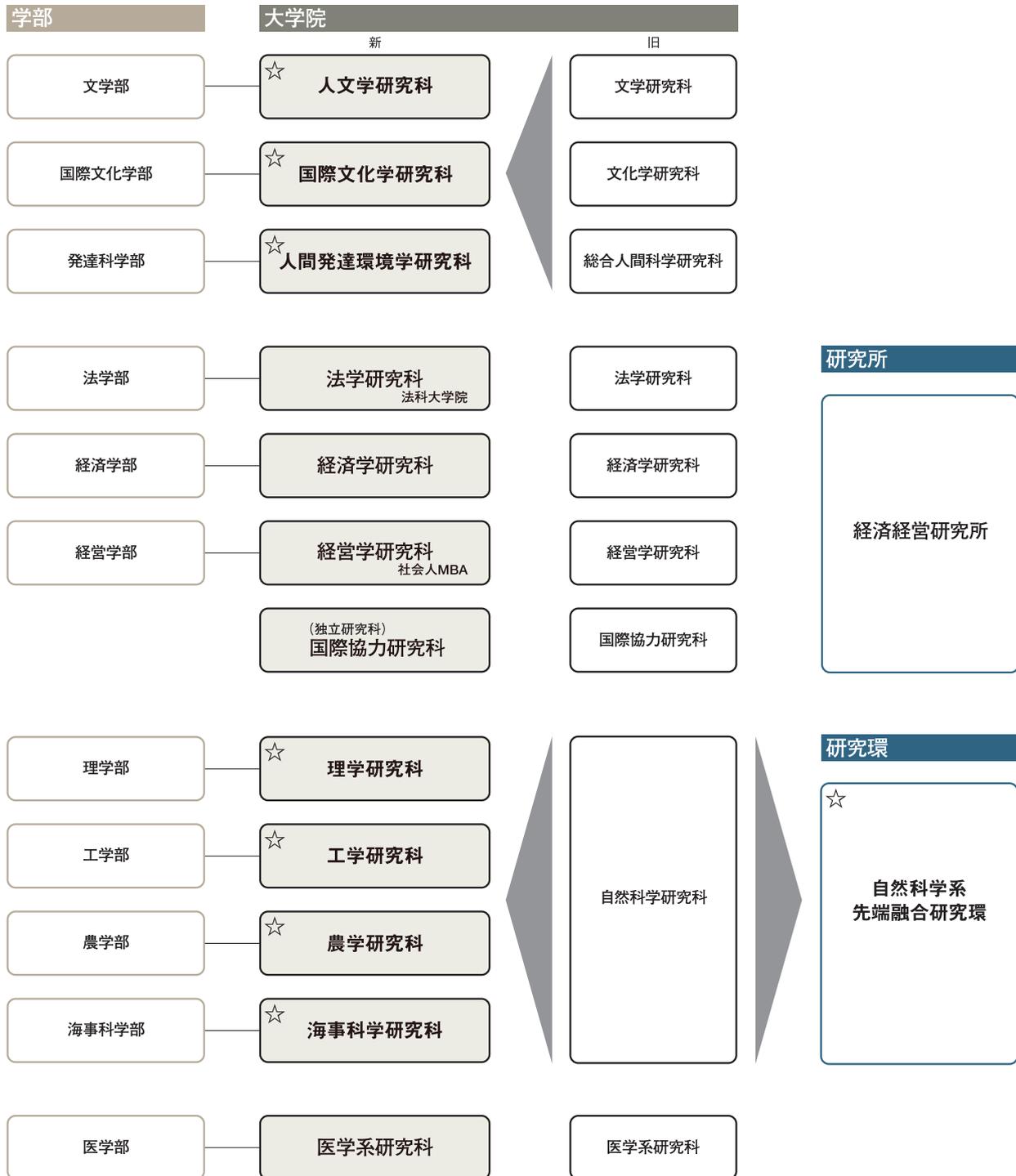
7月

- [1日] ●研究最前線や研究組織、さらには外部資金獲得状況まで、神戸大学の研究の全体像をコンパクトに紹介する冊子「Research Arena 2007 Kobe University Now」を発行。
- [17日] ●神戸大学と神戸薬科大学が教育・研究で連携することになり、神戸大・野上智行学長と神戸薬科大・棚橋孝雄学長が協定書に署名した。国立の総合大学と私立の薬科大学の連携は、全国で初めて。
- [30日] ●男女共同参画シンポジウム「『神戸スタイル』で行こう!」を神大会館六甲ホールで開いた。板東久美子・内閣府男女共同参画局長の特別講演「男女共同参画社会の実現を目指して」などの後、パネルディスカッション。

神戸大学大学院の改組・再編 [2007.4]

神戸大学は2007年4月に大学院を改組・再編し、すべての研究・教育分野を学部から大学院（博士課程）に至る一貫した研究・教育の部局体制に整備するとともに、自然科学系の先端融合研究を戦略的に遂行するために新たに研究環を設置しました。

新体制の下、普遍的価値を有する「知」の創造、人間性豊かな指導的人材の育成に努めます。



☆印は2007年4月の改組・再編による新組織です。



神戸大学のロゴマークです。平成14年の創立百周年を機につ
くりました。本学の英文名である「Kobe University」の頭文字
「K」を2羽の鳥に象形化し、それぞれが大きな軌跡（個性）を
描きながら、山や海を渡り大空（世界）へと自由にはばたき、時
にはお互いに助け合いながら進み行く様子を表現しています。
配色は、鳥を大学のシンボルカラーのブリックカラーとし、緑は山、
青は海をイメージしています。

<http://www.kobe-u.ac.jp>